

## AEDの市内公共施設の設置状況について

幡垣 正生 議員

**質問** AED（自動体外式除細動器）の市内公共施設への設置状況と設置場所の周知について、また本市主催イベント等開催時の対応を伺う。

**市長** AEDは、平成16年に非医療従事者の一般市民にも使用が認められて以降、急速に普及した。本市では市役所や体育施設、学校など公共施設40箇所に計42台設置し、本市ホームページや防災マップ、全国AEDマップ等で市民に周知している。貸し出し用は市役所等に計5台配備している。本市主催・後援事業や公

共的団体の活動事業にも積極的に貸し出し、予期せぬ事態に備えている。



▲中央体育館に設置されているAED

## 民生委員・児童委員と行政及び学校との連携は

佐藤 弘治 議員

**質問** 民生委員・児童委員は、福祉や子育て等において、本市や学校とどのように連携をとっているのか。

**市長** 民生委員は地域と行政のパイプ役として、各部署の委員会では住民が抱える問題を熟知する立場で協議・検討に協力し、また、住民をサービス窓口につなぐ等の活動をしている。児童委員は、問題を抱える児童・生徒に関係機関や保護者とも連携して支援を行う。毎年、児童委員、学校、児童相談所、子ども家庭支援センターの4者が児童・生徒の

問題解決に向け協議し、認識を共有して日頃の取り組みに生かしている。



▲民生委員・児童委員パンフレット

## 避難所の管理運営と在宅等避難者支援について

五十嵐 みさ 議員

**質問** 性的少数者（LGBT）への配慮や在宅避難者・車中等避難者への支援、ペットの同行避難等、新たな課題に対する本市の取り組みは。

**市長** 女性や要配慮者への配慮は、避難所の運営上大変重要である。

現在、小・中学校ごとに避難所運営連絡会を設け、避難所運営マニュアルを作成し、要配慮者等への対応を協議している。今後は、新たな課題についても協議をしていきたい。また、在宅・車中等避難についても、地域防災計画改定に合わせて関係機

関の取り組みなどを精査する。



▲福生市防災訓練の様子

## 多文化共生における窓口業務等の支援機能強化について

青木 健 議員

**質問** タブレット端末の外国語通訳アプリケーションを使って、外国人に窓口対応する官公庁や病院等が増えたが、導入について所見を伺う。

**市長** 市役所1階に秘書広報課広報広聴係を配置し、外国人にも相談窓口として活用いただいている。現在は特段支障はないが、タブレットによる外国語通訳アプリケーション等は多言語に対応し、外国人とのコミュニケーションツールとして有効だと思うので、導入済みの他自治体の活用状況や事業形態、経費等も含

め、情報収集に努める。



▲タブレット端末を利用したテレビ通訳システムによる窓口対応（新宿区HPより）

## 防災食育センターの食物アレルギー対応について

池田 公三 議員

**質問** 7大品目以外のアレルギー原因物質を持つ児童・生徒への対応を伺う。担任にも、保護者と同様の詳細な献立表を配布すべきでは。

**教育長** 今年9月から特定原材料7品目を除去した1献立を提供する。それ以外の原因物質を持つ児童・生徒については、希望する保護者に詳細献立表と使用食材原料配合表を配布し、該当物質が含まれる日には現在と同様に、学校に届け出たうえで各家庭で準備してもらう。現在も小学校教員に詳細献立表等を配布して

おり、9月からも中学校を含め配布し、情報共有する。



▲食物アレルギー対応給食の個別容器

## 生産緑地の要件緩和について

堀 雄一郎 議員

**質問** 都市緑地法等の一部を改正する法律が成立し、生産緑地指定下限面積の引き下げが条例で可能となった。本市への影響と取り組みは。

**市長** 生産緑地制度は、本市の優良農地を残すため貴重な制度である。追加指定可能箇所や農業者等の意向は把握していないが、今後、農業委員会と調整する。生産緑地の保全・活用や追加指定等は、農業振興計画や緑の基本計画の重点施策でもあり、農業委員会の要請があれば、公園緑地等整備や土地利用状況を勘案し、

面積要件緩和が必要なら条例制定や追加指定手続きを進める。



▲市内の生産緑地

第67回

福生七夕まつり

今年も民踊パレードに参加します

8月3日(木)～6日(日)

